

この度の優秀学生賞受賞に際しまして、電気情報通信学会東北支部様より表彰していただき誠にありがとうございます。

企業がAIを導入する理由は何でしょうか。そのひとつは人手不足などの問題を改善することです。しかしながら、そのAIを開発するにも活用するにも専門性が求められます。AIによって作業を分担できても、仕事が増えてしまっただけでは非効率的です。反対に、AIが人とコミュニケーションをとるようになれば、人と同様に作業を分担できるはずです。そして、コミュニケーションをとるためには言語の学習が必要です。言語は時代とともに変化していくものであり、継続的な学習が欠かせない以上、より人らしい言葉でコミュニケーションをとるため、文書が自然か不自然かを判別する必要があります。そのため本研究では、自然な文か不自然な文かを判別するプログラムを作成しました。本研究では、ニュース記事の一部をデータセットとして使用しました。データセット内の文は、人が作成したものであり、全て自然な文と定義します。一方、無作為に単語を並べた文は、明らかに意味が通らないため、全て不自然な文と定義します。文字列のままでは機械学習のための入力データとして使用できないため、文の特徴を数値化しました。ここで文の特徴とは各品詞の関連性を意味します。数値化する方法は、ある単語の出現頻度と、ある単語を含む文の情報量との積で表現しました。得られたデータから学習し、自然な文と不自然な文を判別しました。

なお、今回の優秀学生賞受賞を糧にし、今後も一層研究に励む決意しております。この度は大変ありがとうございました。